

評価シート 様式

取組名	「灰干しプロジェクト」の地域再生全国ネットワーク構築		
実施団体名	三宅島人材受け入れ連携協議会	対象地域	東京都三宅村三宅島（岡山県笠岡市笠岡諸島、山形県酒田市飛島）
(代表団体名)	株式会社ラフ	推薦団体名	東京都三宅村

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。 (備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。 (備考・特記事項)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)
	LLPの設立に至らなかったが、生産者と販売者との協働の場の設定が可能となり、販売ルートの確立の道筋はついたと認められる。		今年度は、計画通り製品の試作・試食まで行われており、次年度は生産管理方法を確立させ、事業を軌道にのせていく段階となる。計画は順調であり、活動を継続することにより、今後発展的に展開していくものと考えられる。

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	「灰干しプロジェクト」の地域再生全国ネットワーク構築		
実施団体名	三宅島人材受け入れ連携協議会	対象地域	東京都三宅村三宅島（岡山県笠岡市笠岡諸島、山形県酒田市飛島）
(代表団体名)	株式会社ラフ	推薦団体名	東京都三宅村

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	各離島における未利用の地域資源の相互活用に加え、離島間のネットワークを構築するなど、相乗効果・波及効果が期待できる取組が確実に進められている。 具体的には、島に所在する農産品に加え、人材や設備を未利用の地域資源として掘り起こして活用するなどの先導性があり、本取組を成功例として、未利用の地域資源を有する他の島々が各々の取組を連携の下に展開するという波及効果・相乗効果を有している。
	○ 評価
	■ ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	□ 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
□ ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、各地の地域資源の相互活用に加え、離島間のネットワークの構築が行われるなど、地域活性化に寄与する事業であり、地方の元気再生事業による支援を継続することにより、本格展開に向けて継続的な取組が期待できる。 次年度以降については、事業の本格展開に向けて、以下の視点を踏まえて実施すべきである。 具体的には、取組①については、支援終了後の事業形態として、当初計画のLLP(有限責任事業組合)に加え、株式会社も有力な方法と考えられる。取組②については、灰干し以外の商品を開発することにより、安定的な事業継続を図り得る点から、有意義な取組と判断する。取組③については、生産・管理・販売の体制をしっかりと整えた上で、灰干しの販売促進につながる取組の一環として実施されたい。